

ハエドクソウ・蠅毒草の呼び名

横山 健三

筆者の在住している新津市内にみられるハエドクソウ、なぜ、どうしてそう呼ぶのか。その名前に、興味もって文献で調べて見ることにした。

- 葉ヲ飯ニヲシマセテ蠅ニ飼ヘハ死ス毒草ナル (大和本草・1709年) (葉に薬効と)
- ハヘトリグサ ハヘドクサウ (物品識名拾遺・1825年)・(名前に留意する)
- 根をすったしぼり汁を紙にしみこませ蠅取紙をつくったところから (日本国語大辞典)
- 根をすりつぶしたものでハエを殺すので (世界大百科事典)
- 地方によっては根をすりおろし、しぼり汁を紙にしませて蠅取紙 (新日本植物図鑑)
- 根、茎、葉、共に有毒ニシテ蠅ヲ殺ス成分ヲ有ス・駆虫剤 (三陸植物)
- 鹿児島民俗植物記から略記する。
 - ・根をすり潰し飯粒にまぜて蠅の止まる所におくととまっただけは死ぬる。牛舎、便所の駆虫にも用いる (牧園町)。
 - ・根を砂糖、或は味噌と共にすり、器に入れておくと蠅が止まる (吉松村)。
 - ・全草をとってすり潰し飯と共にねり合わせて紙に貼る。之に止まった蠅は麻酔して死ぬる。
 - ・根を細かく切り擦り潰して黒糖又は炒粉と混ぜて置けば蠅が之をなめて死ぬる。
 - ・根を飯粒と共にわって紙上にはると蠅がとれる。
 - ・根蠅の毒の意。地下茎をねり駆除する。
 - ・蠅駆除薬には根を使用する。掘って来た根をよく洗い擦り鉢でよくすり、ドロドロになった所で麦飯を適量に入れ更にすり混ぜる。これに二、三滴種子油を入れる。これには麦飯の方がよい (省略)。
- この草は、ハエ蠅には毒だが、人間には害はないと云う (栃木県植物図鑑)。

※ ハエドクソウの方言。一名・別名・(旧仮名遣→新仮名遣)

※ ハヘドクサウの名前は作州・美作 (みまさか) 国・今の岡山県北部・加茂の方言。

※ 松村任三著・植物名彙・ハヘドクサウ・ハヘトリグサ

※ 標準和名はハエドクソウとなる。

- | | |
|-----------|-------------|
| 1. ウジコロシ | ・ 広辞林 (三省堂) |
| 2. サカサナモミ | ・ 岩手 (九戸) |
| 3. サカサバナ | ・ 青森 (八戸) |
| 4. サガリバナ | ・ 青森 (八戸) |
| 5. ソプロ | ・ 長崎 (下県) |
| 6. ナゴミ | ・ 青森 (津軽) |
| 7. ナモミ | ・ 岩手 (九戸) |

- | | |
|-------------|--|
| 8. ニシキナ | ・ 千葉 (山武) |
| 9. ハイコロシ | ・ 京・大和本草頭注・岡山日・薬草カラ図鑑 |
| 10. ハイコロシクサ | ・ 熊本 (玉名) |
| 11. ハイトクソウ | ・ 作洲加茂・大和本草順注・岡山 (ハヘドクサウ・ハエドクソウ) |
| 12. ハイトリクサ | ・ 和歌山 (日高・那賀・伊都・有田・東牟婁・西牟婁・熊本 (菊池・阿蘇)) |
| 13. ハイトリグサ | ・ 青森 (中津軽)・岩手 (下閉伊)・宮城 (桃生) |
| 14. ハイトリソウ | ・ 青森 (津軽)・(-ニウ・なおす) |
| 15. ハエドクサ | ・ 岩手 (九戸) |
| 16. ハエトリクサ | ・ 秋田 (南秋田・鹿角)、大分市・鹿児島市 |
| 17. ハエトリグサ | ・ 熊本 (阿蘇)、福岡 (嘉穂)、大分市 |
| 18. ハエノドク | ・ 鹿児島 (始良) |
| 19. バガ | ・ 宮城 (宮城) |
| 20. ハットリソウ | ・ 青森 (津軽)・(-ニウ・なおす) |
| 21. ヒヤードク | ・ 熊本 (球磨) |
| 22. ヒヤアンドク | ・ 熊本 (球磨)、日本国語大辞典 |
| 23. ヘクサ | ・ 鹿児島 (薩摩) |
| 24. ヘサシ | ・ 鹿児島 (牧園) |
| 25. ヘサン | ・ 鹿児島 (始良) |
| 26. ヘノドク | ・ 鹿児島 (始良・肝属・牧園) |

(日本植物方言集・三陸植物誌・鹿児島民俗植物記より)

○ この植物の名前を、もっと詳しく調査すれば、まだまだあるだろう。

○ 日本の東北地方と関東地方の一部に方言があり、九州地方と近畿地方の一部に方言がある。方言があることは、この植物との密接な生活関係があることを意味している。
・ 中部地方に方言がない。不思議なほどである。1~26名の中にあるのかもしれない。

☆ 最近ハエが少なくなったが?、ハエドクソウを使って、観察・実験するのも、面白い。

ハエドクソウの学名と分布

Phryma leptostachya L. var. *asiatica* Hara

属名 *Phryma* (プリマ): 語源由来不明。アメリカインディアンに土名ともいわれる。

種小名 *leptostachya* (レプトスタキア): 細い穂の

変種名 *asiatica* (アジアティカ): アジアのハエドクソウは世界中に、1科1属1種で、これしかないといわれる。

母種は北アメリカの東部に自生。日本・朝鮮半島・中国・ヒマラヤ・東アジアの産は、変種。